



第21回フィンスイミング日本選手権大会

兼 第2回 CMAS ゲーム大会 (チェニジア) 代表選手選考会
 兼 国際マスターズ大会 (韓国) 代表選手選考会
 兼 第3回アジアインドアゲームズ (ベトナム) 代表選手選考会

- 【趣 旨】 フィンスイミングにおける選手育成および競技力向上を目標に本大会を実施する
 【主 催】 特定非営利活動法人日本水中スポーツ連盟
 【公 認】 世界水中連盟 (CMAS)・アジア水中連盟 (AUF)
 【後 援】 文部科学省・横浜市市民活力推進局
 財団法人日本体育協会・財団法人日本レクリエーション協会
 社団法人日本スイミングクラブ協会
 特定非営利活動法人日本ワールドゲームズ協会
 医療法人社団北原脳神経外科病院
 財団法人笹川スポーツ財団
- 【助 成】 独立行政法人スポーツ振興センタースポーツ振興基金助成事業
- 【期 日】 2009年5月9日 (土)・10日 (日)
- 【会 場】 神奈川県・横浜国際プール (横浜市都筑区北山田7-3-1)
- 【種 目】 男女とも同じ (●は予選・決勝を行う。○はタイムレース決勝とする。)

	50m	100m	200m	400m	800m	1500m	4×100m リレー	4×200m リレー
アプニア	●							
イマージョン		○		○	○			
サーフィス	●	○	○	○	○	○	○	○
ビーフィン	●	○		○		○	○	
CMAS ビーフィン	○	○	○					

【競技方法】

- (1) 2008年世界水中連盟競技規則及びフィンスイミング大会実施基準を適用するほか、本大会申し合わせ事項および選手注意事項により実施する。
- (2) いずれの競技も男女別に、女子・男子の順に行う。但し、参加人数によって、男女同一レースとする場合がある。
- (3) 予選・決勝とも8コースで行う。
- (4) 1500m種目については、競技進行および安全上、制限タイムを20分とする。制限タイムをオーバーし、競技進行上支障をきたすと審判長が判断した場合は、レース中でもその泳者の競技を中止する場合がある。
- (5) ビーフィン種目は、年齢区分毎に組み分けを行い、競技を実施する。ただし、参加人数によっては、他区分との同一レースとする場合がある。
- (6) CMAS ビーフィン種目は、CMAS ビーフィン規定に則り実施する。(別添資料参照)

【競技順序】

● 一日目 5月9日(土)

- 〔開会式〕
- ① 50m サーフイス(予選)
 - ② 400m イマージョン
 - ③ 100m CMAS ビーフイン
 - ④ 100m ビーフイン
 - (昼休み)
 - ⑤ 200m サーフイス
 - ⑥ 200m CMAS ビーフイン
 - ⑦ 800m サーフイス
 - ⑧ 100m イマージョン
 - ⑨ 1500m ビーフイン
 - ⑩ 50m サーフイス(決勝)
 - ⑪ 4×200m サーフイスリレー

● 二日目 5月10日(日)

- ⑫ 50m アプニア(予選)
- ⑬ 50m ビーフイン(予選)
- ⑭ 800m イマージョン
- ⑮ 100m サーフイス
- ⑯ 400m ビーフイン
- (昼休み)
- ⑰ 400m サーフイス
- ⑱ 1500m サーフイス
- ⑲ 50m ビーフイン(決勝)
- ⑳ 50m CMAS ビーフイン
- ㉑ 50m アプニア(決勝)
- ㉒ 4×100m ビーフインリレー
- ㉓ 4×100m サーフイスリレー
- 〔閉会式〕

【参加資格】

- (1) 2009年度日本水中スポーツ連盟登録者
- (2) 次のいずれかに該当する者
 - ① 2008年度選手権保持者
 - ② 加盟団体に推薦された者
 - ③ 大会実行委員会が特に出場を認めた者
- (3) 大会中の写真・ビデオ撮影等により発生する肖像権および映像権を日本水中スポーツ連盟に委譲し、マスコミ等の取材に対しその対価等を要求しないことを約束できる者
- (4) 日本選手権参加標準記録を突破している競技者

【年齢区分】

以下の区分とする。(2009年12月31日時点の年齢で区分)
 但し、CMAS ビーフインに関しては競技特性に鑑み、年齢区分は行わない。
 ジュニア(J): 13歳以下 ユース(Y): 14歳~17歳
 シニア(S): 18歳~49歳 シルバー(V): 50歳以上

【表彰規定】

- (1) 各種目の優勝者には、選手権表彰とメダルを贈る
- (2) 各種目の2位及び3位の者には、賞状とメダルを贈る
- (3) ビーフイン種目は、年齢区分毎に上位3名に賞状を贈る
- (4) 50m アプニア種目の選手権獲得者には、男子は野村武男杯を、女子は小林良雄杯を授与する
- (5) 男女各1名を最優秀選手として表彰する
- (6) 総合、男女別総合、ビーフィンの部の4部門のそれぞれ上位3団体に賞状を贈る
- (7) 2008年度の年間最優秀選手、最優秀新人選手およびユース最優秀選手を表彰する

【得点および総合順位決定方法】

順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
得点	9点	7点	6点	5点	4点	3点	2点	1点

- (1) 総合順位は、男女それぞれの合計点により、出場団体毎に決定する
- (2) 総合得点が同点の場合は、リレー得点による。なお決定しない場合は、入賞者数による(リレーの入賞者数は4として計算)。さらに決定しない場合は、1位入賞者数(以下8位までの入賞者数)で決定する。

【アンチドーピング】

本大会は、ドーピングコントロールを財団法人日本アンチドーピング機構委嘱事業として実施する。該当者は係員の指示に従い、対応すること。

【申 込】

提出物①～④を、郵送又は FAX、E-mail により、日本水中スポーツ連盟へ提出のこと。
(参加費は事前に振込を済ませておくこと)

- (1) 参加費 団体参加費 5,000 円
個人種目 1 種目 2,000 円 (除くイマージョン種目)
-イマージョン種目 1 種目 3,000 円
リレー種目 1 種目 3,000 円
- (2) 振込先 三菱東京UFJ銀行 麹町支店 (コウジマチ)
普通預金 口座番号 3787641
口座名義：日本水中スポーツ連盟日本選手権大会用
※ 参加費は上記口座でのみ受け付けます。
2009 年度登録費は別口座になりますのでご注意ください。
- (3) 提出物 ①参加申込書 ②大会参加費振込内訳書 ③誓約書
④審判員届出書 ⑤広告用版下 (名刺サイズ)
(なお、③は郵送により提出のこと)
- (4) 申込期間 **2009年3月1日(日) ~ 3月31日(火) 必着**
(※ システム業者に委託するため、遅延団体は参加不可)
- (5) 提出先 <E-mail> info@jusf.gr.jp
<FAX> 03-6427-0127
<郵送先> 〒102-0083
東京都千代田区麹町4-4 パシフィックビルB1
特定非営利活動法人日本水中スポーツ連盟
(第21回日本選手権大会申込係)

【問合せ先】 特定非営利活動法人日本水中スポーツ連盟 事務局
<TEL> 03-3222-1192 (FAX、E-mail は上記参照)

お 願 い

スムーズな競技会運営の実施に際し、各団体1名以上の競技役員(専任)の派遣について、ご協力をお願いいたします。

大会参加申込書とともに、競技役員届出書のご提出をよろしくお願いいたします。

大会実行委員長

お 知 ら せ

閉会式において、『国際大会派遣代表候補選手』の発表を行います。

代表候補に選考された選手は、連絡事項等がありますので、閉会式後、大会本部にご参集下さい。

日本代表派遣選考委員長

大会役員

大会会長	羽田 雄一郎		
大会副会長	和田 列	田村 宏	
大会名誉顧問	野村 武男		
大会顧問	中島 功 土井 一清 千葉 景子	眞野 喜洋 北原 茂実 伊藤 育子	中澤 洋二 大畠 章宏 津田 謙二
大会参与	大郷 裕明 清水 悦行 堀内 直美 松浦 良美 服部 光男 鶴谷 道広	渡部 敏夫 新田 信行 伊藤 彰彦 弘中 満雄 平瀬 正典	大庭 昌昭 小泉 和史 柘植 直人 下永田 修二 山見 信夫
大会実行委員長	吉澤 俊治		
大会実行委員	和田 列 中島 真治 上原 洋子 菊池 かおり 下永田 修二 前澤 弘子 山下 まどか	新田 信行 服部 光男 大内 克泰 小峰 千明 砂原 美穂 松元 恵 山中 文乃	平尾 正則 小泉 和史 大原 直樹 坂田 竜司 谷川 泉 山下 准
派遣選考委員長	新田 信行		
派遣選考委員	大原 直樹 谷川 泉	菊池 かおり 政金 秀明	小泉 和史

ビーフィンに関する規定

■ CMAS ビーフィン規定について

2007年から、フィンスイミング世界選手権大会をはじめ、CMAS主催の国際大会にてビーフィン種目が正式に行われ、国際競技規則上、使用可能なビーフィンの基準が定められている。

第21回フィンスイミング日本選手権大会で実施するCMAS ビーフィン50m、100m、200m各種目は、当該競技規則を適用する。使用が認められたメーカー/サイズのビーフィンを用意の上、当日は必ず器具監査でチェックを受けてから出場のこと。

なお、その他のビーフィン種目(50m、100m、400m、1500m、4×100mリレー)については、上記の規制はない。(FRP ビーフィン、ゴムビーフィン等、いずれの素材/サイズのビーフィンも使用可能)

■ 参考1 CMAS Finswimming International Rules (抜粋)

○ ビーフィン競技で認められるフィンの基準

・ 市場で容易に入手できること。(2.3.2.2.a)

・ 最大寸法(2.3.2.2.b)

a. 適合サイズ [図①]

長さ 670mm、巾 225mm

表面積 1550cm² (注; 計算上は 1507.5cm²)

b. 不適合サイズ [図②]

長さ 675mm、巾 230mm

表面積 1600cm² (注; 計算上は 1552.5cm²)

・ 材質は以下に限定する(2.3.2.2.c)

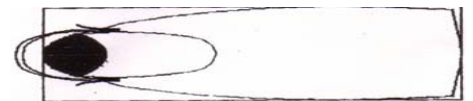
－P.P. (Polypropylene、ポリプロピレン)

－EVA (Ethylene-vinyl acetate、エチレン酢酸ビニール)

[図①]



[図②]



※ 上記に基づき、現在使用許可が得られているビーフィンは以下の通り。(2008年12月24日現在)

・ CRESSI

- Rondinella

- Pluma

- Reaction Pro

- Pro Star

and also previous fins:

・ TECHNISUB

- Stratos Blu F.P.

- Caravelle Blu Met.

- Marlin Blu

- Pinna Grand Prix Blu Met.

- Microfin Iron

- Blades HF R. Blu

- Caravelle R. Silver

・ NAJADE

- Najade Speed

- Najade Standard

■ 参考2 CMAS ビーフインとビーフィン種目の対比表

種目	器具規定		器具監査		実施距離	代表選考	年齢区分
				チェック箇所			
CMAS ビーフィン	有	<ul style="list-style-type: none"> CMAS により指定されたメーカー、製品のみ使用可能 	要	<ul style="list-style-type: none"> CMAS 指定のフィンであるかどうか 	50m 100m 200m	対象	無
ビーフィン	無	<ul style="list-style-type: none"> 規定なし メーカー、素材、サイズ不問 	要	<ul style="list-style-type: none"> エッジの保護がされているかどうか (ゴムフィンは監査不要) 	50m 100m 400m 1500m	対象外	有

以 上